

KADOMA PHOTO NEWS

新しい学校生活様式 生徒会選挙もオンラインで



各教室で真剣に演説をきく生徒たち

9月16日、第二中学校でオンライン会議システム「Zoom」を活用した生徒会選挙が行われました。これまでは全校生徒が体育館に集まっていたが、新型コロナウイルス感染対策のため、今回は初めて各教室でモニター

越しに実施。生徒たちは私語もなく立候補者と応援者の演説に耳を傾けていました。立候補者の一人は「自宅で練習して臨みました。緊張しましたが、しっかりできたと思います」と元気に話してくれました。

みんなで考えよう 認知症になっても 安心して暮らせる門真



修了証を受け取り喜ぶ生徒たち

門真なみはや高校で福祉を学ぶ2年生16人が、市の認知症サポーター・ステップアップ講座を受講しました。「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をテーマに、感染防止のため人が集まるのが難しい状況でもできることをグループワークで考えました。

ワークでは、認知症の人に向け「困った時はみんなで助け合って暮らしやすいまちにしていきましょう！笑顔い

っぱいで暮らせませすように！」という応援メッセージを考えたほか、「おばあちゃんが作ったご飯は美味しいので、動画で料理を教えてもらいたい」、「認知症になっても趣味や特技を生かせる環境があれば生きがいにつながる」などの意見がでました。3日間の講座を修了した生徒たちは、認知症になっても地域で輝きながら安心して暮らせるまちをめざす門真市の、心強いサポーターとなりました。

風船から噴き出す空気でコロコロつきのイスは動くかな？



科学にワクワク！ ルミエールホールで大実験

9月20日、ルミエールホールで大実験パフォーマーの吉岡亜紀子さんによる子ども向けのサイエンスショーが行われました。このイベントは、コロナ禍で楽しみが少なくなった子どもたちに何かできないかと、わくわくキッズ実行委員会や門真市社会福祉協議会、なごみ広場と協力して開催。ペットボトルを使ったロケットの仕組みの実験のほか、塩や銅などさまざまなものを

燃やすと違う色の炎になるという花火についての実験が披露されました。会場に訪れた親子は「次は何色になるのかな」などと予想しながら楽しんでいました。吉岡さんは「『どうなるんだろう』と疑問をもって、『こうなるのかな』と予想して、『そうだったんだ』と発見するのが科学です。科学が身近にあることを感じてもらえたら嬉しいです」と話されました。

掘りたてもっちりもちのれんこん求め 大行列



10月11日と17日、イオン古川橋駅前店とルミエールホールでEXPO'20 KADOMA RENKONが開催され、収穫時期を迎えた「門真れんこん」が販売されました。長年、門真の特産品として愛されている伝統の味を味わおうと、イベント開始前から長蛇の列が！開始数分で完売になるほど多くの人で賑わいました。

ほかにも、門真れんこんにちなんだお菓子やグッズ、門真れんこん限定メニューなどがあり、皆さん思い思いにれんこんを堪能されていました。



ルミエールホールでれんこんを購入する皆さん